

公務員試験対策講座（対象学年：3年）の論文対策①、担当教員：宮園啓介先生の授業をオンラインにて見学させていただきました。

授業冒頭では、総長先生より「皆さんが合格するよう応援しますので、頑張って勉強してください。」というお言葉がございました。試験まで残り数か月となった学生にとって、大変励みになるお言葉だと存じました。

本日は、2～4限で論文対策の講座となっており、2限では「子どもの貧困」に関するテーマが取り上げられました。始めに論題の音読から入り、論じなければならない2点を確認いたしました。その2点について、画面共有を使用しながら、「1 問題が生じる背景について」を300字程度、「2 解決に向けて行政が取り組むことについて」を600字程度で論じると良いというお話がございました。論文を書くのが久しぶりだという学生にとって、目安を知ることによって書きやすくなるのではないかと存じました。

その後、日頃から総長先生がご指導されている通り、学生が数段落ごと本文を音読し、重要なところに下線を引き、下線部分の暗記を数分で行うという形式で進められました。

「1 問題が生じる背景について」を300字程度でまとめる際には、苦手な人は答案例を縮めると良いというお話があり、どのようにまとめればよいのか悩んでいた学生にとって、書きやすくなるお言葉だと存じました。

15分で300字程度を書き上げたのち、3名の学生が作成した内容を発表いたしました。その際、総長先生や宮園先生からアドバイスが伝えられ、説得力のある文章にするためのご指導がございました。

授業の最後には、総長先生より「オリジナリティで考えるより、根拠に基づいて出すこと。暗記した内容を基盤にして文章化し、試験の日に出し切る」といった旨のお話がございました。一から文章を作り上げなくても良いと後押しするお話で、テーマごと暗記していけば、合格に繋がるのだと理解いたしました。

また、合格に向けて一生懸命勉強している学生の姿、総長先生と宮園先生の丁寧なご指導を拝見し、就職支援を担当する職員として、学生が希望している公務員試験合格のために、より一層気を引き締めて日々の業務に臨んでまいりたいと思います。